編集後記

本誌33巻6号特集企画として，今回は80歳以上の脊椎脊髄損傷が取り上げられました．骨粗鬆症やDISHに伴う椎体損傷，軸椎や仙骨など場所ごとの損傷，リハビリテーションなど，多岐にわたっていろいろな角度から取り上げられています．このような切り口は教科書では難しく，高齢者社会となり80歳以上の高齢者のCT，MRIが多くを占めるようになってきている状況では，放射線科医の私からみても日常臨床に役立つ特集と思われます．

さて，未曾有のコロナ禍により今までの生活様式が見直されていると思います．毎日朝に通勤ラッシュに揺られて会社に行き，手紙を開けてハンコを押すというような仕事は，おそらくなくなっていくでしょう．幸か不幸か，夜に一献というのも減りそうです．

医学関連では，学会が大きな影響を受けています．とりあえず延期をしたり，web開催を試みたりしていると思います．私も4月に第79回日本医学放射線学会総会を横浜で主催する予定でした．他の学会や大きな展示会と併催のため会場がなく延期はできませんでしたので，web開催としました．登録なしでopening ceremonyや大会長拡散MRIを語る（5分ビデオ）は観られます．よろしければお立ち寄りください（https://jrc2020web.com/events.html）．

Web開催の準備をしていると，zoomなどのweb会議やwebinarのシステムを利用すると，これからは実の学会に行かなくてもよいのでは，実の学会をやるメリットを出せないとwebに勝てない，と思うようになりました．専門医制度の領域講習単位が取得できる，webには載せられない新しい情報が多く取得できる（機器メーカのものなど），何かが体験できる，あるいは観光地に行ける？ などの学会出席に関する参加者のメリットが必要となると思いました．漫然と講演や発表で新しい情報が得られるというだけではwebには勝てません．リアルワールドで行われる学会・研究会が将来生き残るには，専門医単位取得に頼らず，情報の差別化や，参加者同士のリアルワールドならではのコミュニケーションの場を多く用意する必要があると感じました．

居酒屋，デパート，温泉旅館などの行く末も心配ですが，学会・研究会，そして出版物もあり方を考えていかなければいけないと，思いつつ…

（青木茂樹）

©MIWA-SHOTEN Ltd, 2020

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年　徹　高橋　昭　金田清志
小山素麿　小柳知彦　田代邦雄
国分正一　服部孝道

編集委員

山崎正志（編集委員長）
金　　彪（副編集委員長）
青木茂樹　亀山　隆　園生雅弘
高橋敏行　谷　　諭　筑田博隆
永島英樹　中村雅也　根尾昌志
原　政人　飛驒一利　松山幸弘

Vol. 33 No. 6
（2020年6月25日発行）

毎月1回25日発行
1部定価（本体2,500円＋税）
（配送料別）
年ぎめ予約購読料33,300円＋税
送料弊社負担

発　行／株式会社　三輪書店
　　代表者　　青山　智
〒113-0033
東京都文京区本郷6-17-9
　本郷綱ビル
　TEL　03-3816-7796
　FAX　03-3816-7756
　URL　http://www.miwapubl.com/
　（担当：山岸）
印刷所／三報社印刷株式会社
　　TEL 03-3637-0005
広告申込所／
　㈱文栄社
　　TEL 03-3814-8541
　㈱ハイブリッジエージェンシー
　　TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください．
Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2020,
Printed in Japan

JCOPY〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています．複製される場合は，そのつど事前に，出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088，FAX 03-5244-5089，e-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください．